

福岡ランニングセンター(FRC)ニュース NO.61

発行日：2020年12月24日

発行責任者：西村文男

事務局 新日本スポーツ・福岡県連盟北九州事務所 TEL・FAX 093-662-9278

〒806-0013 北九州市八幡西区清納1丁目1-10 E-mail krc-fn@jcom.home.ne.jp

福岡ランニングセンター(FRC) <https://www.njsf.net/zenkoku/pref/fukuoka/running/>

第42回月例マラソン

マラソン日和に恵まれた

12月20日(日)の第42回月例マラソンは、気温が3℃と冷え込みましたが、天気は良く、風もなく絶好のマラソン日和に恵まれました。

この日もコロナ感染対策で参加者の体温チェックと手の消毒をして、9時の1kmと5kmのスタート位置を分けました。同様に9時45分スタートの3kmと10kmもスタート位置を分けてスタートしました。

ところが今回、3kmのスタート位置に10kmを走る人が、また10kmのスタート位置に3kmを走る子供さんが混じって、そのままスタートするというアクシデントが起きました。こちらが把握しただけでも参考タイムの3人ですが、その他にも何人かいたようです。この間違いを正すためには、スタート前に審判員が参加者に確認をする必要があります。今後、徹底します。

今回の参加者は112名、新規登録者は29名あり、登録者総数は478名になりました。

コロナ感染を恐れて、ほとんどの競技会が中止になる中、この月例マラソンに参加する人がどんどん増えています。また、記録も向上しています。

コロナ過の中、競技会をして大丈夫なの？という声があります。新日本スポーツ連盟ではスポーツ庁が示した感染対策指針に基づいて競技会をして行こうという方針を持っています。

現在、5,000人規模以下であれば、感染対策をして開催出来る状況にあります。

従って、コロナ禍でも感染対策をしながら、スポーツ要求を実現していくことで、現状を打開していきたいと考えています。



参加者の感想

●坂田さん親子：No446 健児さん(右)は前回、変更

になった直方会場が初参加。本日は2度目。「ベストは29分18秒(10km)。現役を退いて今は楽しく走っています。今日は知り合いも多く良かったです」。スマホで自撮りしながらのランでした。息子のNo445 龍輝さんは「ゆっくりと気分よく走れました」。No447 琥宇さん

と3人で参加でした。親子一緒に走れるなんて幸せですねえ〜。

●No466 久保田さん：5キロと10キロに出場し、10キロは最終ランナーで完走。「えっ、一番最後とは思わなかったヨ。後ろは絶対振り返らず走りきるのが自分のスタイルなんです」とゴールするまで応援し続けた仲間みなさんに息を弾ませながら語っていました。



《役員だより》「ステイホーム」が声高に叫ばれる日々が続きますが、福岡ランニングセンターの役員をしているといっても元々「ステイホーム」が好きな私ですので、読書三昧です。その一環で全国ランニングセンターも加盟している新日本スポーツ連盟の機関紙「スポーツのひろば」2020年12月号を読みましたので、ご紹介します。

1.「漫画でたどる新日本スポーツ連盟55周年」1963年(東京オリンピックの前年)「おれたちの力でスポーツのできる生活を」というスローガンのもと、我が国初の官製ではない自主的な全国スポーツ祭典が開催されました。その実行委員会に集まった学者、体育教諭、登山、空手等のスポーツ愛好者などを中心に1965年新日本体育連盟創立、以下省略します。

2.「最大150万円の補助金：スポーツ活動継続サポート事業 各地で申請、交付も決まる」
今月11日で受付は締め切られましたが、福岡ランニングセンターも申請し受けられました。(洵)